

PR30039

JBN 外0456 (産業、半導体) (08・4・28)

【産業担当デスク殿】30039

◎放電保護デバイスCM1234を発売 CMDが発表

【ミルピタス (米カリフォルニア州) 28日PRN=共同JBN】カリフォルニア・マイクロ・デバイセス (ナスダック: CMD) は28日、ピコガードXS (PicoGuard XS; 商標) アーキテクチャーを使用したエクストリームESD (XtremeESD; 商標) ファミリーで最新の静電放電 (ESD) 保護デバイス、CM1234を発売した。このデバイスはIEC61000-4-2標準で8チャンネルのESD保護を備えプラスマイナス15kVの接触放電と、プラスマイナス20kVの空中放電に対応している。またこのデバイスはHDMI (商標) 1.3aとディスプレイポート (商標) デジタルビデオ標準の必要要件に適合する100オームの差分インピーダンスにマッチしている。このデバイスはデジタルテレビ、LCDディスプレイ、ノート型コンピューター、セットトップボックス、高精細DVDレコーダーに理想的である。

(Photo:<http://www.newscom.com/cgi-bin/prnh/20080428/AQM036>)

同社のデジタルコンシューマー・アンド・コンピューティング製品マーケティングディレクターであるジョー・サルバドール氏は「家電メーカーはしばしば8kV以上の基準で試験を行う。特に側面、全面にマウントされているデジタルビデオ・ポートのように消費者が簡単にアクセスできるポートについてはそうだ。これまではこうしたより高い保護レベルに対応でき、それでもHDMI (商標) 1.3aデータレートのシグナルインテグリティを維持できるESD保護デバイスはなかった」と指摘した。

▽ピコガードXSインピーダンス・マッチング

CM1234は最近導入されたピコガードXSアーキテクチャーを採用しより高い速度のデータラインにマッチする定点インピーダンスを作り出すためダイオードにインダクターを内蔵する。システム設計者は伝統的に外部インダクタンスを付け加えるか、ESDデバイスの近くの信号トレースでのキャパシタンスを消すようにするか、その両方でESD保護デバイスのキャパシタンスを補わなければならない。このアプローチの仕方では複雑になりコストもかかりPCBボードに依拠せざるを得ない。多くの場合、この方法も可能でないかもしれない。特に既存の20kV・ESDデバイスに典型的なようにデバイスのキャパシタンスが高すぎる場合は可能でない。CM1234は外部補正や部品の必要が無く必要なインピーダンスを提供してこうした措置の必要を無くしている。

▽CM1234: ESD保護の増加

CM1234はディファレンシャル・チャンネル4組に保護を提供する。IEC61000-4-2標準でプラスマイナス15kV接触放電とプラスマイナス20kVの空中放電に対するESD保護である。ESDダイオードのインダクター内蔵は改善されたESD保護を提供し、優れたシグナルインテグリティを提供する。CM1234は現在最高水準のESDダイオード・アレイと比較し以下の性能を提供する。

\*ピーク時クランピングボルテージ(制限電圧)を40%減少。

- \*ピーク時残留電流の15-40%減少。
- \*外部補正を必要とせずに100オーム差分インピーダンスのマッチング。
- \*改良したレイアウトのためのストレートスルールーティング。
- \*ボード上のスペースを削減する小型16ピンTDFNパッケージ。

▽最新の[www.XtremeESD.com](http://www.XtremeESD.com)ウェブサイト

この新しいESDリソースセンターはパソコンとデジタル家電アプリケーションの設計者にESD保護関連情報を提供する。このサイトは技術白書、製品仕様、記事、プレゼンテーション、さまざまなESD保護問題についての公開フォーラムを含んでいる。<http://www.XtremeESD.com>を参照。

▽価格、出荷時期

CM1234は16ピン・リードTDFNパッケージで入手可能。現在サンプル出荷中で今四半期中に大量生産にはいる。価格は1000個単位で1個0.59ドル。

▽カリフォルニア・マイクロ・デバイセスについて

同社は携帯機器、デジタル・コンシューマー・エレクトロニクス、パソコン各市場向けの特定用途アナログおよびミクスドシグナル半導体製品の有力サプライヤーである。主要製品は、携帯機器向け保護デバイス、デジタルTVなどデジタル・コンシューマー・エレクトロニクス、パソコン、携帯機器ディスプレイ用アナログおよびミクスドシグナルICなどが含まれる。

同社と製品の詳しい情報はウェブサイト (<http://www.cmd.com>) まで。

ASIPとApplication Specific Integrated Passive (アプリケーション・スペシフィック・インテグレートッド・パッシブ) は、カリフォルニア・マイクロ・デバイセスの商標。その他の商標はそれぞれの所有者に帰属する。

(了)

▽問い合わせ先

Richard Haas of California Micro Devices

+1-408-934-3108

[richardh@cmd.com](mailto:richardh@cmd.com)

Photo: Newscom: <http://www.newscom.com/cgi-bin/prnh/20080428/AQM036>

AP archive: <http://photoarchive.ap.org>

PRN Photo Desk: [phtodesk@prnewswire.com](mailto:phtodesk@prnewswire.com)

Web site: <http://www.cmd.com>

<http://www.XtremeESD.com>